

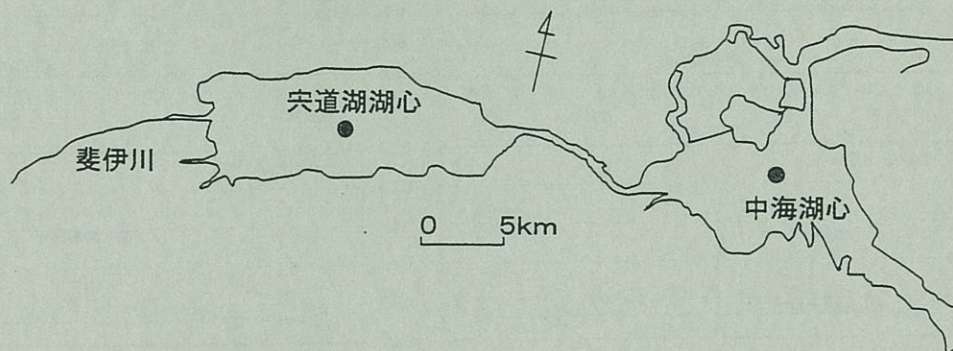
輝水だより (第44号)

[お問い合わせ先] 島根県環境生活部環境政策課

湖沼環境係(電話:0852-22-5562)

平成13年8月の宍道湖・中海の水質状況について、島根県が実施した定期調査結果の速報値をお知らせします。(紙面の都合上、測定値は両湖湖心のみを掲載しています。)

1. 調査地点 宍道湖8地点、中海9地点



2. 調査機関 島根県保健環境科学研究所

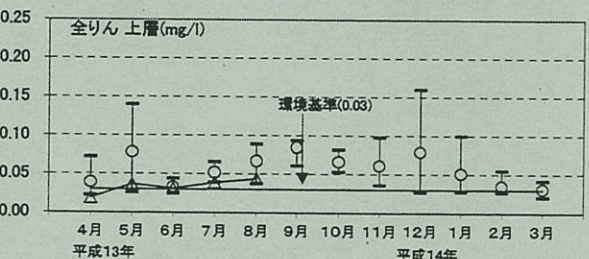
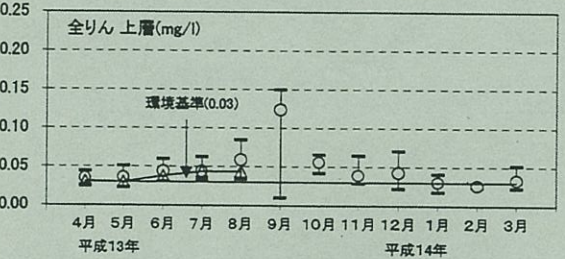
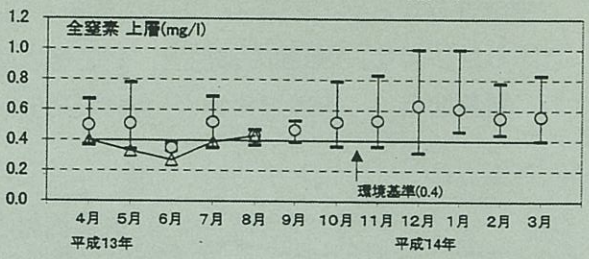
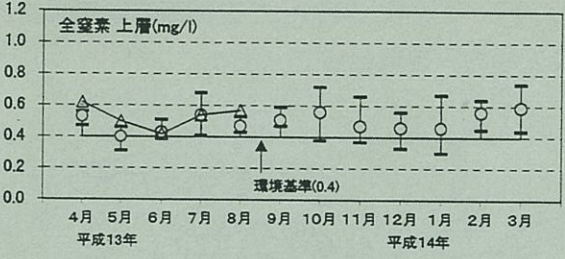
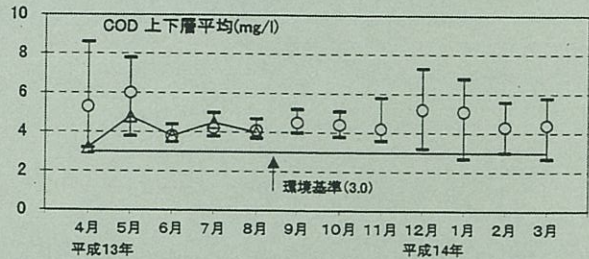
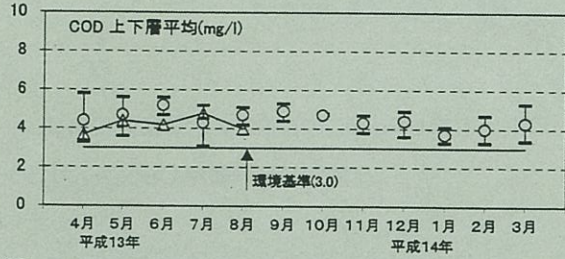
3. 調査結果

- (1) 宍道湖湖心では、過去5年間(平成8年度～12年度)の同月と比べると、CODは最も低い濃度、全窒素は最も高い濃度で、全りんは平均値より低い濃度でした。
- (2) 中海湖心では、過去5年間の同月と比べると、CODは平均値とほぼ同じ濃度、全窒素は平均値と同じ濃度、全りんは平均値より低い濃度でした。

項目	単位	環境基準 (湖沼AⅢ類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考]*平成12年度平均	
			6月	7月	8月	6月	7月	8月	宍道湖 (湖心)	中海 (湖心)
水温(上層)	℃	—	22.3	26.2	30.2	22.6	26.0	30.8	—	—
pH(上層)	—	6.5～8.5	8.0	9.0	7.7	8.2	8.6	8.4	—	—
COD(全層平均)	mg/l	3以下	4.2	4.8	4.0	3.8	4.5	4.0	4.5	4.9
SS(上層)	mg/l	5以下	8	11	5	2	4	1	5	8
DO(上層)	mg/l	7.5以上	8	10	6.7	8	10	5.9	9.9	10
DO(下層)	mg/l	7.5以上	7.8	4.9	2.2	1.0	2.6	<0.5	7.5	5.4
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.42	0.54	0.57	0.27	0.39	0.43	0.54	0.55
全りん(上層)	mg/l	0.03以下	0.038	0.044	0.044	0.031	0.039	0.044	0.042	0.056
Cl(上層)	mg/l	—	2600	1600	1400	10000	6000	7300	2800	9400
Cl(下層)	mg/l	—	2600	1600	1600	16000	15000	16000	3400	13000
クロロフィルa(上層)	μg/l	—	15	36	10	3	15	2.5	22	31

*平成12年度公共用水域水質測定結果による。

T 過去5年間(平成8年度~平成12年度)の月別最大値
 O 過去5年間(平成8年度~平成12年度)の月別平均値
 I 過去5年間(平成8年度~平成12年度)の月別最小値
 △ 平成13年度の測定値



穴道湖湖心における各水質の月変動

中海湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

- pH 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD 湖水の中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS 水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
- DO 水に溶けている酸素の量を示します、水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素 水中の窒素の量を示します。全りんとともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん 水中のりんの量を示します。全窒素とともにプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- クロロフィル a 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(CI)は18800mg/lです。